



第35回「青龍祭」に寄せて

校長 谷津 勉

今年度の青龍祭は、毎年開催になり、3回目の文化祭です。実施の目標は以下のようになっています。

- (1) 日常の活動の成果を発表し、地域社会の人々に太田一高の良さを伝える。
- (2) 生徒全員が参加することにより、自己の教養を高め、情操を豊かにし、お互いが協力しあうことにより相互の連帯感を高める。
- (3) 太田一高の特色をだすように努め、よりよい校風をつくる。

この目標の下、実行委員会やホームルームの話し合いには、全生徒が協力して主体的に話し合い、様々な意見を出し合いながら企画・立案してきました。

さて、本校文化祭は昭和24年の創立50周年に端を発し、毎年開催するも、昭和28年に進学に対する学力向上を図る面から3年に1度の開催となりました。それから六十有余年を経て、生徒会の尽力で文化祭は毎年開催となり、また歴史が動きだしました。本校の良き伝統を、現代に合わせて工夫改善し、新しい本校の特色・価値を高める活動が生徒中心に進められています。

今年のテーマは「蒼炎」サブテーマ：「～今この一瞬を熱く、青く～」

テーマの理由は、「文化祭1分1秒を全力で熱くなりたい！青春したい！それに合うテーマは何だろうと考えた時、青い炎がかっこよくて良いなと思いました。」ということです。

いよいよ本番ですが、皆で「明るく・楽しく・元氣よく」協力しながら、いつか青春時代を振り返ったときに「最高だったな！」と思える、かつ悔いの残らない青龍祭にしてください。

最後に、開催にあたって企画運営に携わってくれた生徒会役員、文化祭実行委員、そして先生方に心より感謝をしつつ、また生徒の皆さん一人ひとりの努力で熱い青龍祭となり、来場者の方々が笑顔になることを、さらにその熱量で本校の魅力がますます向上し、より良い学校になることを期待しています。

青龍祭実行委員長挨拶

3-3 松浦 巧太

皆さんこんにちは！今年も青龍祭の季節がやってきました！

クラス企画、学校企画共に進む中で「青春」がとても感じられます。

先輩方の努力のおかげで青龍祭が毎年開催になってから、太田一高の活気がみなぎり、クラスの団結力が強くなり、本校のモットーである「生徒主体の太田一高」の実現に近づいているように思います。

クラスごとに企画を考案し係分担をして全員で準備して本番を運営する、このような経験は学生でないと中々できない経験なのではないでしょうか。そんな素晴らしい経験の集大成を来てくださる方々に感じていただけると嬉しいです。

附属中・高校全てのクラスの生徒がやる気に満ち溢れて準備を進めてきました。

年間行事の中で最も盛り上がる行事のひとつである「青龍祭」、盛り上がること間違いなしなので、来てくださる皆さんに楽しんでいただければ嬉しいです！